

ルドンと日本

2020年5月19日(火) - 8月23日(日)

●印は7月5日まで、○印は7月13日から展示 / *印は寄託作品 □印は個人蔵

展示室1a ルドンと日本—ルドンと世紀末パリの画家

作家名	生年-没年	作品名	制作年	技法、素材
ピエール=ピュヴィド・シャヴァンヌ	1824-1898	《慈愛》のための習作	1893-94頃	油彩、紙
ギュスターヴ・モロー	1826-1898	ピエタ	1854	油彩、画布
		聖セバスティアヌスと天使	1876頃	油彩、板
カミーユ・ピサロ	1830-1903	牛の番をする農婦、モンフォー	1875	油彩、画布
オディロン・ルドン	1840-1916	『夢のなかで』表紙=扉絵	1882	リトグラフ、紙
		王女マレーヌ(小さな聖母)	1892	エッチング、ドライポイント、紙
		シバの女王		木炭、紙
		山上の垂訓または預言者		木炭、コンテ、紙
		手稿		木炭、コンテ、紙
		神秘的な対話	1896頃	油彩、画布
		オリヴィエ・サンセルの屏風	1903	油彩、テンペラ、グアッシュ、画布
		ファエトンの墜落	1905-06頃	油彩、板
		オルフェウスの死	1905-10頃	油彩、画布
		花	1905-10頃	油彩、画布
		アポロンの戦車	1906-07頃	油彩、画布
ピエール=オーギュスト・ルノワール	1841-1919	泉	1910頃	油彩、画布
ポール・ゴーギャン	1848-1903	ステファーン・マラルメの肖像	1891	エッチング、ドライポイント、エンブレヴィング、紙
山本 芳翠	1850-1906	若い娘の肖像	1880頃	油彩、画布
		裸婦 【重要文化財】	1880頃	油彩、画布
ポール・セリュジエ	1864-1927	急流のそばの幻影 または妖精たちのランデヴー	1897	油彩、画布
藤島 武二	1867-1943	浴室の女	1906-07頃	油彩、画布
エミール・ベルナール	1868-1941	ポンタヴェンの市場	1888	油彩、画布
モーリス・ドニ	1870-1943	なでしこを持つ若い女	1896	油彩、画布
参考資料		● エミール・ギメ(著)、フェリックス・レガメ(挿画)『日本散策』	1878	書籍
参考資料		● ジュディット・ゴージェ(著)、山本芳翠(挿画)『蜻蛉集』	1884	冊子
参考資料		『パリ・イリュストレ』山本芳翠カレンダー	1884	冊子
参考資料		『ル・モンド・イリュストレ』掲載 五姓田義松画「日本の祭」	1885	冊子
参考資料		● フェリックス・フェネオン『文学者と芸術家の小年鑑』	1886	書籍
参考資料		● ジャン・フルー(著)、山本芳翠 他(挿画)『愛しき人』	1886	書籍
参考資料		● サミュエル・ビング(著)『芸術の日本』	1888-91	書籍
参考資料		● 『世界の首都』山本芳翠挿画	1892	書籍
参考資料		● ロベール・ド・モンテスキュー(著)、山本芳翠 他(挿画)『蝙蝠』	1893	書籍
参考資料		● フェリックス・レガメ(著)『日本』	1903	書籍

ルドンと日本

2020年5月19日(火) - 8月23日(日)

●印は7月5日まで、○印は7月13日から展示 / *印は寄託作品 □印は個人蔵

展示室1b ルドンと日本-日本におけるルドン受容

作家名	生年-没年	作品名	制作年	技法、素材
オディロン・ルドン	1840-1916	『夢のなかで』 I. 孵化	1882	リトグラフ、紙
		『夢のなかで』 II. 発芽	1882	リトグラフ、紙
		『夢のなかで』 VIII. 幻視	1882	リトグラフ、紙
		『夢のなかで』 IX. 悲しき上昇	1882	リトグラフ、紙
		『起源』 II. おそらく花の中に最初の視覚が試みられた	1883	リトグラフ、紙
		『起源』 III. 不恰好なポリープは薄笑いを浮かべた醜い一つ目巨人のように岸边を漂っていた	1883	リトグラフ、紙
		『ゴヤ頌』 I. 夢の中で私は空に神秘の顔を見た	1885	リトグラフ、紙
		『ゴヤ頌』 II. 沼の花、悲しげな人間の顔	1885	リトグラフ、紙
		『ゴヤ頌』 VI. めざめた時、私はきびしく無情な横顔の叡智の女神を見た	1885	リトグラフ、紙
		● 光の横顔	1886	リトグラフ、紙
		○ 光の横顔	1886	リトグラフ、紙
		眼をとじて	1890	リトグラフ、紙
		パルジファル	1892	リトグラフ、紙
		樹	1892	リトグラフ、紙
		光	1893	リトグラフ、紙
		ブリュンヒルデ(神々の黄昏)	1894	リトグラフ、紙
		『聖アントワーヌの誘惑 第三集』 IV. 私の接吻には、お前の心のなかでとろける果実の味わいがある！…私を馬鹿にするのだね！さようなら！	1896	リトグラフ、紙
		『聖アントワーヌの誘惑 第三集』 X III. 頭を持たない眼が軟体動物のように漂っていた	1896	リトグラフ、紙
		『聖アントワーヌの誘惑 第三集』 X VIII. アントワーヌ:これらすべての目的は何だろうか? 悪魔:目的などはないのだ!	1896	リトグラフ、紙
		ベアトリーチェ	1897	リトグラフ、紙
● 子供の顔と花	1897	リトグラフ、紙		
カインとアベル	不詳	油彩、画布		
花の中の少女の横顔	1900-10頃	油彩、板		
長谷川 潔	1891-1980	本の上の小鳥	1967	マニエル・ノワール、紙
木村 荘八	1893-1958	* バンの会	1928	油彩、画布
坪内 節太郎	1905-1979	砂の花	1971	油彩、画布
伊藤 清永	1911-2001	裸婦	1979頃	油彩、画布
石川 勇	1922-1989	狂人船	1960	油彩、画布
井上 忠明	1930-1984	眼と精神	1968	油彩、画布
坂倉 新平	1934-2004	無題	1979頃	油彩、画布
参考資料		○ □ オディロン・ルドン《子供の顔と花》		

ルドンと日本

2020年5月19日(火) - 8月23日(日)

●印は7月5日まで、○印は7月13日から展示 / *印は寄託作品 □印は個人蔵

展示室1c ルドンと日本—ルドンとわたし

作家名	生年-没年	作品名	制作年	技法、素材
オディロン・ルドン	1840-1916	『エドガー・ポーに』 I. 眼は奇妙な気球のよう に無限に向かう	1882	リトグラフ、紙
		● 蜘蛛	1887	リトグラフ、紙
		『ギュスターヴ・フロベールに』(『聖アントワーヌ の誘惑』第二集) IV. 聖アントワーヌ:どこかに 始原的な形象があるはずだ。その身体は映像 にすぎないのだ	1889	リトグラフ、紙
		○ 『夢想(わが友アルマン・クラヴオーの思い出 に)』 V. 日の光	1891	リトグラフ、紙
		眼をとじて	1900以降	油彩、画布
		オフィーリア	1901-02頃	油彩、紙
山本 芳翠	1850-1906	浦島	1893-95頃	油彩、画布
ポール・セリュジエ	1864-1927	消えゆく仏陀—オディロン・ルドンに捧ぐ	1916	油彩、画布
守 洞春	1909-1985	恩師	1955	木版、紙
水木 しげる	1922-2015	無題		墨、紙
島田 鮎子	1934-	この窓からの眺め	2010	油彩、画布
土屋 禮一	1946-	雲	1995	紙本着色
日比野 克彦	1958-	□ ケイショウ→エイソウ	2016	ペン、色鉛筆、紙
傍島 幹司	1960-	赤と白の時間	2003	油彩、画布
参考資料		オディロン・ルドン(著) 『A soi-même: Journal, 1867-1915』	1922	書籍